夏号

ふくら通信

令和8年7月発行

朝晩はまだ涼しく過ごしやすいですが、日中晴れ間のある日には半そでででも過ごせるくらい、
温かな気候となってまいりました。関東ももうじき梅雨が明け、本格的な夏が近づいてまいります。
ふくらでは外出の頻度も増え、毎日さまざまなことに挑戦しています。
ご家庭でも、この季節の変化を一緒に楽しんでいらっしゃることと思います。
それぞれの事業所で夏祭りや、プール遊びなど、ご利用者様たちにとって大切な行事が目白押しです。
それぞれの行事を通じて、協力することの大切さや、感謝の気持ちを育んでいきたいと考えております。
これからも、皆様が安全で楽しく充実した毎日を過ごせるよう、職員一同支援してまいります。

代表コラム

ふくら社名の由来

古くからふくらをご利用いただいている保護者の皆様には、これまで社名「福蔵 FUKURA」の由来をお話ししたことがありますが、改めてご紹介させていただきます。
私の母方の祖父は、かつて常陸太田市亀作町に住んでいました。祖父のもとを訪ねるたびに、偉人の話や道徳、人生で大切なことを数多く教えてくれました。
その中でも、私の人生に最も大きな影響を与えた言葉があります。
「人は死んでも持って帰れるのは心しかないんだよ。家も土地もお金も、何ひとつ持って帰ることはできない。だから、この世にお金を残すことよりも大切なのは、天の蔵に貯金をすることなんだ。善いことを思い、善いことをしなさい。そうすれば、天の蔵にたくさんの貯金ができるんだよ。」
この言葉は今でも私の心に深く残っています。
10年前、この事業を始める際、「心を込めて仕事を続けることで、天の蔵にたくさんの貯金ができる会社にしたい」という願いを込めました。
そこで、「福祉」の「福」と、「天の蔵」の「蔵」を合わせて「福蔵」と名付けました。しかし、漢字だけでは中華料理店のように思われることもあったため「FUKURA」というローマ字表記を添え、「福蔵 FUKURA（ふくら）」を社名としました。
「ふくら」という響きには、「ふくらむ」という前向きなイメージもあり、とても気に入っています。
共に働く職員も、この社名に込められた思いを理解し、日々の療育に取り組んでいます。

もうひとつの祖父との思い出

祖父からは人生の教訓を教えてもらったことで、もうひとつ、忘れられない出来事もありました。
私が高校生の頃、祖父が入院したことがあります。当時は付き添いが必要な時代でした。祖父のことが大好きだった私は、自ら付き添いを申し出ました。
実際の介護は想像以上に大変で、寝たきりだった祖父の排尿を尿瓶で介助することもありました。汗をかきながら、一生懸命お世話をしたことを今でも覚えています。
その時、祖父は穏やかな表情でこう言いました。
「かわいい孫に介護をしてもらって、おじいさんは世界で二番目に幸せだよ。」
私は「どうして一番じゃないの？」と不思議に思いました。
すると祖父はこう続けました。
「祥子が愛を与えてくれたから、神様は祥子に愛を返してくださる。一番幸せなのは、愛を与えた祥子なんだよ。」
当時はその意味を十分に理解できませんでした。しかし、年齢を重ねた今、その言葉の深さをしみじみと感じています。

愛をあたえた人が、最も愛される人

ふくらをご利用くださっている保護者の皆様は、日々さまざまなご苦労を抱えながら、お子様へ惜しみない愛情を注ぎ、支え続けておられます。祖父の言葉を借りるなら、愛を与え続けている皆様こそ、神様から最も愛される人なのだと思います。
私たちも、その思いに少しでも寄り添い、ご家族に負けない愛情をもって利用者様の心に寄り添い、心の通訳者となり、一人ひとりとの出会いを大切にし、心を込めた支援を積み重ねることで、天の蔵にたくさんの貯金ができるような会社であり続けたいと願っています。

FUKURAグループ代表　須田　祥子

～夏季休業日のお知らせ～

2026年8月12日(水)～2026年8月16日(日)

※8月11日(火・祝)は通常営業いたします。夏季休業は8月12日(水)～15日(土)です。8月16日(日)は定休日のため休業となります。

FUKURA